令和3年度 第1回 「部局・分野横断技術交流会」

# Pythonから始めてみようICT活用

共催 ： 数理データサイエンス教育研究センター
高等教育研修センター

## 令和3年10月～令和4年2月末

大塚尚広 技術専門職員（工学研究院工学系技術センター技術部），遠藤礼暁 技術専門職員（電子科学研究所 技術部），阿保憲史 技術専門職員（アイソトープ総合センター）がコーディネーターとなり，本学**技術職員24名**を対象とした技術交流会を開催しました。

**【研修内容】**

令和2年度実施した技術交流会アンケートにおいて、Raspberry Pi を用いた遠隔操作やPythonプログラミングの基礎といった内容に興味があるとの結果がありました。また情報処理技術の発展と共に多様な分野での情報技術の活用機会が増えつつあることから、初学者の方でもプログラミングの基礎を学ぶことができ、すでに技術を取得している方をメンターに実際の活用方法や知識を共有し、参加者それぞれの解決したい課題に対して参加者相互で学ぶことができるコミュニティの第１歩となる交流会を目指して実施しました。

初学者の方が基礎から学ぶ方法として、数理・データサイエンス教育研究センターにご協力いただき、webブラウザ上でPythonプログラムを実行可能なe-learningプラットフォームを活用しました。

交流会は、オンライン形式でZoomを用いながら、参加者による課題共有をはじめとして、プログラム作成やIoT機器の試作、設置の検討を実施しながら参加者からのフィードバックを得つつ月１回のペースで計５回実施しました。

**【本交流会の成果】**

参加者の課題共有から、「PDFからCSV帳票自動作成アプリ」「センサー活用したIoT機器の試作」「分析業務のおけるpython利用」「プログラマブルドローンの活用検討」など、いろいろな試行ができました。

また5か月間にわたるe-learningの利用と交流会を通してのアンケート結果は満足度や交流会の意義について高い評価が得られました。自由記述では、「関係がないとおもっていたが、たくさんの学びがあった」「様々なツールや手法を知ることができ他の部局のことや技術職員のことを知ることができ良かった」「新しい発想のヒントや課題の共通点が見えて有意義であった」「周りに相談することで解法が増えた、視野も広がった」等のポジティブな意見をいただき、多様な専門性を組み合わせることで課題解決に繋がり、スキルを向上させるとともに、更なる技術支援の可能性を示すことができました。

CoSMOSでは，技術職員が自ら企画，運営，講師を担い，各自の持つスキルの継承・伝達・強化を図るとともに，異分野交流による技術職員同士の全学的な人材交流・技術情報交流・技術強化を目的とした技術交流会企画コーディネーターを募集しています。詳細はHPでご確認ください。

企画フォローアップはマルチスキル人材育成プロジェクト担当が行っております。
CoSMOS HP　https://cosmos.gfc.hokudai.ac.jp/

**研究支援人材育成プログラム実施専門部会**
**マルチスキル人材育成プロジェクト**

実施専門部会長：松尾　孝之　工学研究院
全体フォロー　：岡　　征子　創成研究機構
担　当　：桝本　浩志　北方生物圏フィールド科学センター
担　当　：高塚　徹　低温科学研究所
委　員　：佐藤　浩幸　北方生物圏フィールド科学センター
委　員　：遠藤　礼暁　電子科学研究所
委　員　：佐藤　陽亮　低温科学研究所
委　員　：阿保　憲史　アイソトープ総合センター

2022.3